

Rec'd PCT/PTO 21 JAN 2005

PAT-NO: JP406074275A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06074275 A

TITLE: ENGINE MOUNTING DEVICE

PUBN-DATE: March 15, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ORIKAWA, MICHIIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
BRIDGESTONE CORP	N/A

APPL-NO: JP04248591

APPL-DATE: August 25, 1992

INT-CL (IPC): F16F001/38, F16F015/08

US-CL-CURRENT: 267/140.12

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide an engine mounting device preventing the separation of a rubber elastic body at the contracted time and suppressing the back-warp of an engine at the starting and accelerating time of a vehicle.

CONSTITUTION: An outer cylinder 1 is circumferentially divided into two parts at a place corresponding to two spaces A, B. Each end part of the divided outer cylinder 1 on the top part 3A side of an approximately V-shape rubber elastic body 3 is bent onto the inner cylinder 2 side, and the outer cylinder 1 is pressed into a bracket 4 in such a way as to be diameter-contracted so as to bring the top part 3A side of the rubber elastic body 3 into contact with the outer cylinder 1 side. The inner cylinder 2 and the bracket 4 are respectively

fitted to one and the other between an engine and a body so as to separate the top part 3A side of the rubber elastic body 3 from the outer cylinder 1 side by engine load.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-74275

(43)公開日 平成6年(1994)3月15日

(51)Int.Cl.⁵

F 16 F 1/38
15/08

識別記号 庁内整理番号

U 8917-3 J
W 9138-3 J

F I

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平4-248591

(22)出願日

平成4年(1992)8月25日

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(71)出願人 000005278

株式会社ブリヂストン

東京都中央区京橋1丁目10番1号

(72)発明者 折川 通洋

神奈川県横浜市戸塚区上矢部町462-1

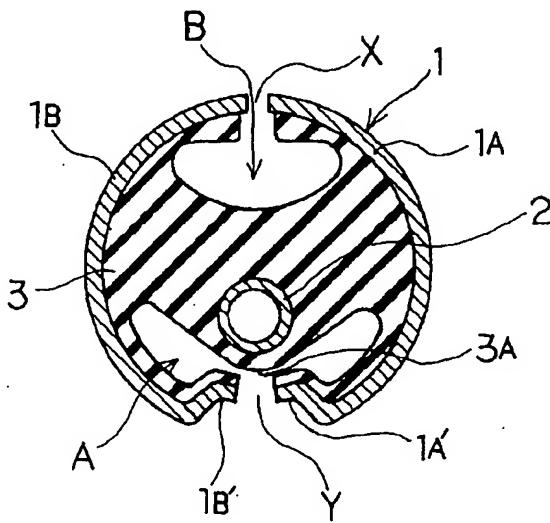
(74)代理人 弁理士 増田 竹夫

(54)【発明の名称】 エンジンマウント装置

(57)【要約】

【目的】 この発明の目的は、絞り時のゴム弾性体の剥離を防止し、車両の発進時や加速時のエンジンの反り返りを抑えることのできるエンジンマウント装置を提供することである。

【構成】 この発明は、外筒1を2つの空間A, Bに対応する個所で周方向に2分割し、略V字形のゴム弾性体3の頂部3A側の2分割された外筒1の各端部を内筒2側へ折り曲げ、ブラケット4に外筒1を縮径するように圧入することによりゴム弾性体3の頂部3A側を外筒1側へ当接せしめるとともに、内筒2及びブラケット4をそれぞれエンジン及び車体のいずれか一方及び他方に取付けることにより、エンジン重量によりゴム弾性体3の頂部3A側を外筒1側から離隔せしめるようにしたものである。



3

部3A側と折り曲げ部1A', 1B'側とが当接する圧力を調整することによりエンジン搭載時のリバウンド側の隙間を適切な値にすることが可能である。

【0009】図3に示すグラフは、実線がこの発明のエンジンマウント装置を示し、点線が図4に示す従来例を示すものであり、このグラフから明らかにリバウンド時にゴム弹性体3の頂部3A側と折り曲げ部1A', 1B'側とが当接するように作用しているために撓み量を抑えることができる。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、外筒を2つの空間に対応する個所で軸線方向に2分割し、略V字形のゴム弹性体の頂部側の2分割された外筒の各端部を内筒側へ折り曲げ、エンジン又は車体に取付くプラケットに外筒を縮径するように圧入してゴム弹性体の頂部側を外筒側へ当接せしめ、車体又はエンジンを内筒に取付けてエンジン重量によりゴム弹性体の頂部側の空間を拡げ反対側の空間を縮めるようにしたので、外筒を大きく絞っても化成処理皮膜若しくは接着剤が割れ、ゴム弹性体が剥離するおそれもない。また、2つに分割された各部材の端部を内筒側へ折り曲げてあるので、外筒を絞った時にゴム弹性体の頂部側が折り曲げ部

側に当接或いはこれら折り曲げ部が頂部側を押し上げるように作用し、小さな絞りから大きな絞りまで設計の自由度が大きくなる。また、エンジン搭載前にゴム弹性体の頂部側を外筒側に当接させておくことにより、エンジン搭載時のゴム弹性体の頂部側の空間が大きく拡がるのを防ぐことができ、車両発進時や加速時のエンジンの反り返りを抑えることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】内筒と外筒との間にゴム弹性体を設けたプラケット圧入前の部材の断面図。

【図2】図1の部材をプラケットに圧入した状態の断面図。

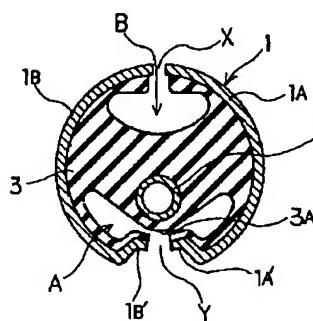
【図3】この発明の実施例と従来例との荷重と撓みの関係を示すグラフ。

【図4】従来例を示す断面図。

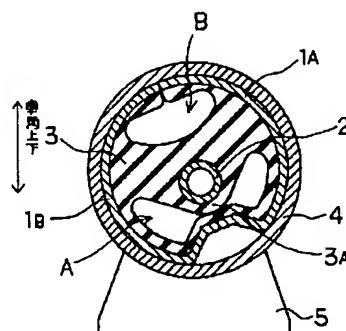
【符号の説明】

- 1 外筒
- 2 内筒
- 3 ゴム弹性体
- 3A ゴム弹性体の頂部
- 4 プラケット
- A, B 空間

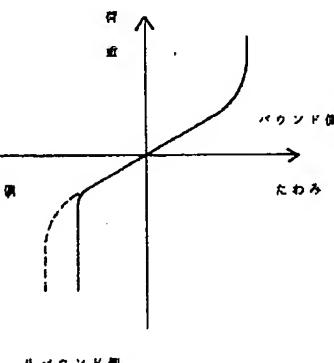
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

